

東北初女性B級レフリー

関東ラグビー協会公認

八戸学院大女子ラグビー部初代主将の田端ひかるさん(22)は八戸市が東北地方の女性では初めて、関東ラグビー協会公認のB級レフリーとして認定された。青森県内では5月の県高校春季大会から「出場」が可能になる。田端さんは「プレーヤーから信頼されるレフリーになりたい。東北のラグビーを盛り上げられれば」と意気込んでいる。(同屋敷萌)

田端さんは同市出身。父 戸高2年時に復帰し、男子親がラグビースクールのコ に交じって練習した。大学1年時に進学後は、同大にそれまでから競技を始めた。一時 なかった女子ラグビー部は競技を離れたが、県立八 創設に携わり、初代主将も

務めた。今春卒業し、市内小学校の養護教諭となる。田端さんの競技生活は、順風満帆ではなかった。高校1年生の頃は別の競技中に左膝半月板を損傷し手術を受けた。ラグビーに復帰すると、今度は右膝半月板を損傷。高校卒業直後に手術を受け、大学1年時は1年間プレーができなかった。3年時には、再び右膝の半月板を損傷し、半年間の戦線離脱を余儀なくされた。「大学生活の半分はけがをしていた。主将なのに



「信頼される審判に」

みんなと同じメニューをこなせない。もどかしかった」グラウンドを離れている間は、けがの多い選手生活を振り返り、選手以外で競技に携わる道を模索。そんな時、同大の工藤祐太郎監督の勧めで、レフリーの資格取得を決断した。

「ラグビーは選手としてプレーしていてもルールが複雑」と話す田端さん。ルールブックを読み込み知識を深め、レフリーの動作は動画を見ながら練習。高校生の練習試合などで経験を積んだ。昨年8月、資格取得に必要な競技規則講習をオンラインで受講。12月に実技・フィットネステストに臨み、晴れて先月12日にB級レフリーに認定された。

B級は関東、東北地方などの社会人以下の地方大会などでレフリーが可能。田端さんは「選手たちにとってこういう判断をしたのか、堂々と説明できるよう、より知識を深めていく」とさらなる研さんを誓う。

東北地方で初めて関東協会公認B級レフリーの資格を取得した田端ひかるさん。「東北の女子ラグビーを盛り上げたい」と意気込んでいる

15日、八戸学院大